

生産性向上プロジェクト始動 P会議を開催！

[愛知所]7月4日に生産性向上プロジェクトP会議を開催しました。

この会議は、平成27年度から始まった「生産性向上実現プログラム」に基づくもので、生産事業者及び民有林関係者の方々と連携して更なる生産性向上に向けた取組を今年度もスタートしました。



参加者全員で線形を検討

関係者が参加しました。当日は台風等の影響で現地での検討会を急遽変更し、愛知森林管理事務所会議室での開催となりました。

冒頭、愛知森林管理事務所長による挨拶、平成30年度生産性向上実現プログラム概要説明の後、国土防災技術(株)名古屋支店によるUAVに関する平成29年度の成果報告及び今年度の取組紹介の報告等をいただきました。

その後、参加者全員による森林作業道路網線形の検討を行い、参加者から作業システムと線形決定の説明を行った後、実行事業体である新城森林組合から事業計画に基づく路網線形の説明が行われました。



新城森林組合から実際の線形説明

意見交換のなかでは「生産性と森林作業道運搬距離との相関関係について」、「今回の列状間伐の伐列は」、「定性間伐と列状間伐毎の生産性目標数値はあるのか」など、効率的な作業システム構築等に向け参考となる意見が多く出されました。

今回の会議を踏まえ、作業日報やドローン等を活用した実行状況の把握とボトルネックの解消、間伐実行の検討など、PDCA起動により、より良い作業システムを構築し、得られたノウハウを少しでも多く民有林へ水平展開したいと考えています。